



発行責任者 齋藤隆靖 編集責任者 滝沢寿隆

2023年9月15日号  
 平和 働き、生活できる  
 人権 労働条件を獲得しよう  
 環境

ホームページ



メール

<http://unionpeace.main.jp/>[info@unionpeace.main.jp](mailto:info@unionpeace.main.jp)

ユニオンネット平和センター（略称：ユニオン平和）

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-15-9 武蔵野ビル 2F 労働相談室気付

TEL 070-6576-2071

FAX 03-5577-7263

## 歴史的事実を再確認し出発しよう

9月1日の関東大震災から100年にあたり、都内各地で追悼集会や慰霊祭、また震災に関連する国際シンポジウムが開催された。平和フォーラムの関係する「関東大震災朝鮮人虐殺の責任と課題」と題するシンポジウムに参加した時、パネラーの講師から次のような話があった。「関東大震災の死傷者は10万5千人と言われており、その多くは焼死者であるが、そのなかには朝鮮人や約600人の中国人、そして大杉栄ら10数人の社会主義者の虐殺が含まれている」と。

小池東京都知事は、毎年9月に行われる「朝鮮人犠牲者追悼式典」に、2017年から追悼文送付を中止した。そのきっかけは同年の古賀俊昭都議（自民党）の一般質問によるものだが、彼はノンフィクションライターの工藤美代子氏の著作「関東大震災『朝鮮人虐殺』の真実」（2009年発行 以下、工藤本）を根拠に朝鮮人虐殺を否定した。それ以降、小池都知事は関東大震災については「様々な内容」が「史実」として記述されており、「明白な事実」は「歴史家がひもとく」という説明を繰り返している。しかし講師によれば、工藤本には虐殺否定のレトリック（比喩、誇張といった種類の表現法）と暴動実在説など様々な「トリック」が施されているという。そのトリックの手口として「引用資料の恣意的な切り取り」や「原典に書いていないことを“参照”」する行為などを挙げ、資料を示して話してくれた。歴史作家の保阪正康氏は、「日本人は歴史を資料ではなく、思想で語る」と言っていたが、「歴史家がひもとく」というより、すでに「朝鮮人虐殺」があったことは歴史的事実として明らかになっている。日本政府は100年経った今でも、その事実を否定し、謝罪さえしていない。被害者が加害者（朝鮮人暴動説）にされるという事実、その歴史を認めない者は、また同じ過ちを繰り返すことを肝に銘じなければならないと思った。

話は変わり、先月、亡父の4周忌で帰省（北見市）した時に、義姉の友人と話す機会があり、初対面だったが話のなかで、「北見でも毎月、行動をしているが30人位しか集まらない」と話していたので、「私も、平和フォーラムの行動等に参加しています。今月の19日の国会前行動には千人が集まりました」と話したら、「東京はすごいですね」と言われた。後で兄に聞いたところ、彼女は以前、北教組の専従婦人役員をやっていたそうで、車で運転して高知の集会などに行っていたという事である。私の田舎でも頑張っている人に会えて少し、元気が出た感じである。頑張ろう。

記：滝沢寿隆

平和・人権・環境



## 9.1 関東大震災 朝鮮人犠牲者 追悼式典

関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式典が、9月1日東京墨田区横綱公園で11時から行われた。

1973年から歴代都知事により、行われてきた朝鮮人虐殺への追悼式典への追悼文送付は、今年も7年連続で小池都知事が取りやめた。関東大震災で虐殺された朝鮮人など犠



追悼式典

牲者の追悼集会に追悼文を送らないんだと。この一点だけで知

事の資格のない差別主義者である。今後も全力で拒否すると言う。天災と人災の犠牲者を一緒にする差別主義者の看板を背負っている。

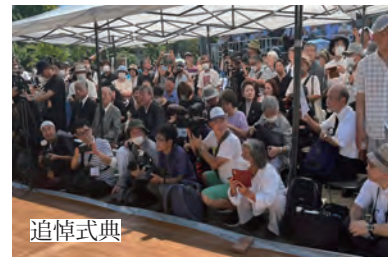
歴史を風化させない、二度と繰り返さない思いを持って、多くの労働者、市民が参列した。宮川泰彦実行委員長の開会の言葉から始まりました「100年前に発生した関東大震災時に、人の手によって命を奪われた朝鮮人、中国人そして日本の労働運動指導者たちに心

から哀悼の意を表します。朝鮮人が井戸に毒を卷いた、朝鮮人が襲ってくる、火を放っているなど流言飛語が瞬く間に広まり、悲しい事態を招きました。「記録



追悼式典

が無い」からと松野官房長官は否定する。ひどすぎる。集団虐殺を二度と繰り返させないためにも歴史をしっかりと認識、忘れないことが大切です。今日の式典で改めて朝鮮人虐殺の歴史を胸に刻みます」。鎮魂の舞が「韓国舞踊家の石香金順子（ソクヒャン キム スンジャ）さん」によって舞われた。訪れた人を引きつけ、亡くなられた人たちに鎮魂を捧げました。



追悼式典

各界からの追悼の辞とメッセージが送られ、参列者もいつもより多く、炎天下におよそ1時間40分の式典は、出席者全員の献花で閉会をした。

## 9.4 JAL 争議の早期全面解決をめざす実行委員会 開催

「JAL 争議の早期全面解決をめざす実行委員会」が9月4日（月）に開催された。その中で議論された「JAL 争議の到達点」「都労委段階での全面解決を勝ち取る」「労働委員会の状況」について掲載する。

### 1・JAL 争議の到達点

① 2 労組解決後マイナスの出発にかかわらず予想以上の運動（2022年12月8日（木）集会・全国統一行動・労働委員会・団体交渉・院内集会・超党派国会議員労働委員会要請・JAL 要請等々）

② 12年の闘いの継承の上、争議解決の主戦場である大衆運動と労働委員会闘争の結合による強化・発展の中で解決を展望する。

③ 今後の争議を考えると長期闘争を回避するためには、労働委員会を解決の場として運動を組み立てる必要がある。

④ 12年の運動が多くの労働者の支援を受け労働者を励まし、相対的な JAL 不当解雇争議運動の広がりにも自信を持つ。

### 2・都労委段階での全面解決を勝ち取る

JAL を労働委員会命令になれば負けるという状況に追い詰める。社会的信用を失う。コ



## 雇用維持求め百貨店のスト 労働組合に支援・共感の輪

そごう・西武労働組合は、8月31日西武池袋本店でストライキに突入。

これを受けて西武池袋本店は臨時休業した。大手百貨店でのストライキは1962年の阪神百貨店以来実に61年ぶりだ。「デパートのスト」に日本中が好意的に受け止めマスコミ各社創出の取材合戦が繰り広げられた。

開店10時にはシャッターが閉まったままで、「全巻臨時休業」の張り紙が目立った。

### 雇用維持求めてスト

900名がストに参加し、東池袋中央公園には300名が横断幕や旗、プラカード、メガホンなどをもって集まり、西武本店の周辺を1時間にわたりデモ行進し、「西武池袋本店を守ろう」「池袋の地にデパートを残そう」とシュプレヒコールでアピールし、遠藤から拍手がわき起こった。「がんばって」などの声援も飛び、総じてストライキに対して好意的で



ストに連帯し多くの支援者が



デモで訴える組合員

あった。

### 支援・共闘の輪拡大

ストに先駆けて全高島屋労働組合連合や三越伊勢丹労組などの5労組画の代表が「明日は我が身、孤立させない」と共闘をアピールし、業界内の13組合が支援を表明した。

また、上部団体である連合だけでなく、全労協や全労連もストライキ指示と共闘を表明するなど支援の輪がナショナルセンターを越えて広がった。

しかし、売却後、米投資ファンドと連携する家電量販店ヨドバシホールディングスが土地建物を3000億円で取得し、大規模出店を計画しているという。米投資ファンドは一夜にして800億円儲けることになる。

このストライキが各会に波紋を駆け、低迷する労働運動に一石を投じ、今後の発展に期待したい。

コロナ以降の経営にも大打撃を与える社会的にJALを社会的に断罪し包囲する大衆運動が重要になってくる。

- ① 安全報告書でも明らかになったように、必要のなかった労働組合つぶしの解雇(余剰人員はいなかった)
- ② 雇用で解決するという社長約束、その稲盛、植木、赤坂発言にあるよう経営陣は約束を破った。

### 3・労働委員会の状況

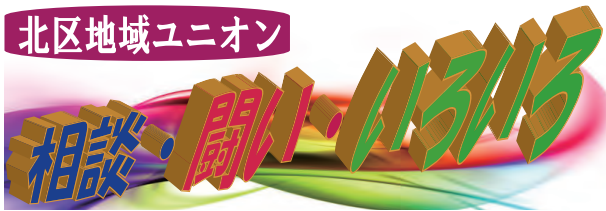
(1) 労働委員会国交省団交拒否 組合からの反論書面に対し、国交省は反論しない。次

回までに組合は証人申請書を提出する。次回委員会は証拠調べが必要かどうかを含め今後の手続きを検討する9月15日(金)10:00 都庁南棟38階

(2) 労働委員会 JAL 団交拒否その他事件 会社側は組合の2つの反論書面に対し、精査した上で反論するかどうか検討する。組合は次回までに証人申請書を提出する。反論の中身次第であるが、委員会は次回、審問の開催を含めた審査計画書の作成を検討する。委員会から出された争点案に対し、修正の希望があれば書面で伝える。10月5日(木)10:00 都庁南棟38階



## 北区地域ユニオン



## 労基法を知らない

## M整骨院勤務Sさん

雇用契約書にない定年をいきなり持ち出し、昇給・一時金も曖昧。有給休暇は増えず、繰り越しもなし。早朝出勤手当もなし。

ユニオンは要求書を作り団体交渉。オーナーは労基法を全く知らず、要求も口頭ではほぼ認め、徐々に改善中。

## 週勤務日減

## エンタテインメントコンテンツの企画・制作、C社のKさん

定年後、才雇用契約の再週3日勤務で半年働いた後、更新時に週給に知に変更提案。賃金減はもちろん、社会保険もなしに。

勤務成績論を持ち出す会社に対して高齢者雇用、不親切指示などで団体交渉中。

## 賃金不払い

## 在留資格のあるインドAさん

建物内装関係の仕事で働いていて最初は賃金が遅れこそすれ支払われていたがついに支払われなくなった。会社は連絡が付かなくなった。

## パワハラ・いじめ

## 建設業Sさん

作業用長靴にアスファルトを入れられた

り、マンホールの中での作業中にアスファルトをパラパラ落とされたり、命に関わりかねない悪戯いじめを受ける。

## 空調・電気・セキュリティ設備、S社のWさん

直属のU課長のいじめ・いやがらせをその上の上司に訴えたが実らないので会社の中にある社員サポート室にお訴え中。団体交渉で慰謝料等で合意。

## 兵庫で闘う仲間の集会を開催予定

9月30日、兵庫で「たたかう仲間の集会」が開催されます。労働者が声を上げたたたかうことが社会を変えます。エールを送ろう。

◆ 闘いの報告と記念講演

◆ 講師 東海林 智 (毎日新聞記者)

東海林 智 (とうかいりん さとし) 1988年毎日新聞社入社。現社会部記者(編集委員)。厚生労働省などを担当し、労働問題や労働組合運動、貧困問題などを長く取材。貧困問題や労働問題の一連の新聞報道で第一回貧困ジャーナリズム賞、日本労働ベンクラブ賞などを受賞。著書に「貧困の現場」「派遣村~国を動かした6日間」(共著)「15歳からの労働組合入門」(いずれも毎日新聞社刊)

兵庫たたかう仲間の集会実行委員会  
神戸市中央区古渡通1-2-5DAIEIビル3F 〇ようごユニオン内  
TEL.078-382-2116/FAX078-382-2124  
E-mail:hyogounion@rouge.plala.or.jp

## ユニオン平和に参加しましょう

ユニオン平和は、フォーラム平和・人権・環境に加盟しているユニオンの集合体です。平和・人権・環境に係わる諸課題の理論・情報・行動を発信していきます。

加入は、団体、サポーター会員として、個人単位での加入もお願いしています。

是非ご参加ください。

## 会費 一年会費

団体：一口 1000円

個人：一口 1000円

※団体個人とも、可能な方は複数口お願いします。

※サポーター会員証を発行しています